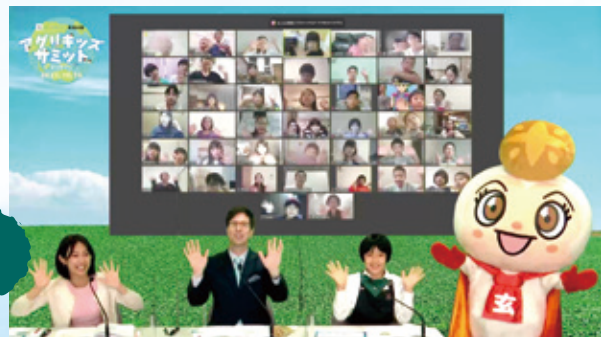


見つけよう! ぼくのわたしの アグリアクション!

クボタ地球小屋 アグリキッズサミット2021 開催!

国連が定めた「世界食料デー」の10月16日、世界の食料問題や農業の未来について、専門家からお話を聞いたり、みんなで話し合ったりするオンラインイベントが開催されました。参加したみんなが学んだ内容をここにご紹介! 今、世界では食料と農業についてどんな問題があるのか、どんな取り組みが行われているのか、一緒に考えてみましょう。



知ってる? 世界と日本の食の課題



日本の「食料自給率」が低くて知っているかな。お米は97%が国産だけど、たとえば、みそやとうふの原料となる大豆は、たったの6%しか国内で作られていないんだ。ほとんどを外国からの輸入にたよっているから、もし輸入できなくなったら大変だね。また、日本では農業で働く人が高れい化し、田んぼや畑が少なくなっている問題もある。世界でも、地球温暖化のえいきょうで農地が減っていて、限られた農地を有効に使うことが大切になっている。それから、「食品ロス」といって、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品をなくしていくのもとても大事なこと。私たち一人ひとりができることを探して、一緒に行動しよう。

正解できるかな? 食農クイズ

博士からの挑戦状!



ぼくは野菜が大好きで、10歳の時に野菜やくだもののおいしさやおもしろい知識を伝える「野菜ソムリエプロ」になったんだ。みんなも興味を持ってくれたらうれしいな。

- 第1問** 次のうち本当にあるものはどれ?
 A 種なし「ピーマン」 B 種なし「すいか」
 C 種なし「トマト」 D ぜんぶ
- 第2問** 世界一重い大根の重さは?
 A 3kgぐらい B 30kgぐらい
 C 300kgぐらい D 3000kgぐらい

クイズの答えはいちばん下にあるよ

3つのテーマについて、みんなで話し合い、考えてみたよ。

テーマ1 食農@School お米を育てて、食について学んでいる小学校があるよ。

東京都府中市の明星小学校では、地元の「赤米」というお米を自分たちで作りました。種もみからなえに育て、田植えをし、最近りっぱに実ったいなほを収穫しました。かりとったいなほを干して、だっ穀して食べる日を楽しみにしているそうです。



テーマ2 給食の未来 世界の子もたちは、どんな給食を食べているのかな?



国の持ち味が表れている世界の給食。日本でも、地元の野菜を使ったスパゲティや地元の郷土料理が給食に出るとい学校があります。未来の給食は、バイキング制がいなという声がたくさん上がったよ。

テーマ3 未来の食農

未来の農業は、どんなふうになっているのかな?

日本では農家の方が高れい化し、農家になりたいという人も少なくなっている問題があります。そこで今、最新技術を使い、「完全無人」で「自動運転」ができる未来のトラクター=写真=が開発されています。人がいなくても、トラクター自身がさまざまな情報を受け取って、農作業ができるようになるれば、問題の解決につながるかもしれません。

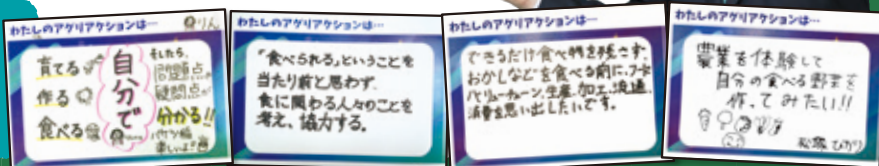


(提供: 株式会社クボタ)

見つけよう、キミのアグリアクション!

食と農の未来のために、何ができるか考えてみよう。

アメリカ育ちのぼくは23歳の時に日本に来て、食材から作り方、食べ方、見せ方まで、食をとて大事にする日本の文化をはじめて知りました。食について考え、行動することは、毎日の食事を守り、日本の文化を守ることでもあると思います。自分に何ができるか、ぜひ考えてみてください。



クボタeプロジェクト 地球小屋 (TERRA-KOYA) とは

クボタでは、未来を担う子どもたちに、自然の豊かさや地球環境の大切さを学んでもらうため、2007年からキャンプ型体験学習「地球小屋」を実施しています。今年は、新型コロナの中でも食の大切さを学んでもらうため「アグリキッズサミット2021」を開催しました。



参加したみんなの
アグリアクションの
一部を紹介するよ